

四日市港管理組合議会ニューズ

Yokkaichi Port Authority Assembly

第70号（令和5年2月発行）

令和4年は12月に第4回定例会が開催され各議員の一般質問の主な内容は下記のとおりです。

主な質問・答弁要旨

平畑武議員



主な質問項目
・ 2050年四日市港カーボンニュートラルポート実現について
・ 四日市港カーボンニュートラルポートの実現に向けて

○現在、四日市港カーボンニュートラルポートの実現に向け、令和4年8月に設置された「四日市港カーボンニュートラルポート協議会」において、形成計画策定に向けた各種検討が進められていると聞いているが、協議会での検討状況についてどうなっているか。

●第2回協議会では臨海部企業等を対象とした脱炭素化に向けた取組状況等のアンケート、ヒアリング結果の概要、それから四日市港のカーボンニュートラルに関する強み、弱みについて御説明をし、形成計画の骨子案について検討を行った。形成計画については、令和5年1月開催予定の第3回の協議会において、取りまとめた中間案について議論、検討をした後、パブリックコメントを実施し、3月開催予定の第4回協議会にて最終案を取りまとめる予定である。

○四日市港の水素の受入れの検討状況についてはどうなっているか。

●現在策定中の「四日市港カーボンニュートラルポート形成計画」では、複数の次世代エネルギーや水素キャリアに対応したシナリオを設定している。形成計画策定後も「四日市港カーボンニュートラルポート協議会」を定期的に開催し、水素等の受入環境整備に関する制度や水素等に関する技術の進展、企業等のニーズについて意見交換や情報収集を行い、常にあらゆる可能性を検討してシナリオを考えながら、四日市港における水素等の受入れなどについての検討を進めていきたいと思います。

山口智也議員



主な質問項目
・ 海岸保全施設の早期整備と情報公開について

○海岸保全施設の整備状況について、平成27年度に策定された海岸保全施設整備方針の中で、おおよそ10年間に着手検討する海岸として選定された7地区についての整備状況と今後の早期整備に向けた方針、取組状況はどうなっているのか。

また、県民・市民の防災・減災意識を高める観点で、地区ごとの整備進捗について、三重県や四日市市、川越町とも連携し、本港全体の海岸保全施設整備状況をホームページで情報公開に努めるべきと考えるがどうか。

●海岸保全施設の整備は、海岸保全施設整備方針に基づいて整備を進めている。

今後の進め方については、莫大な事業費と長期の事業期間が必要となるため、整備の優先度に基づき、引き続き防災安全交付金事業により順次整備を進めていくことが基本となるが、事業規模が大きい、高度の技術を必要とする、集中的な実施を必要とするなど、地区の状況により直轄事業や補助事業など様々な事業手法を柔軟に検討し、整備が停滞しないように努めたいと思う。

整備状況のさらなる情報公開については、民有や民有地上の海岸保全施設が多く存在していることから、関係企業の理解と協力が必要であるため、それらの企業と今後の整備の進め方や役割分担を協議していく中で、事業進捗の公開の在り方についても意見交換を行い、県民・市民へのわかりやすい情報提供に努めていきたい。

○海岸保全施設については、市民・県民の命に関わる問題であるので、積極的に情報公開の検討を進めてほしい。